

11月「19の日」行動

自・公・維による改憲政治は許さない！
市民と野党の共闘で憲法、命と暮らしを守ろう！

先日行われた総選挙の結果、京都を含むいくつもの小選挙区で、立憲野党は統一候補や選挙協力を行い、自公与党に勝つなど、立憲野党の共闘の効果が発揮されましたが、政権への批判を結集しきれずに、関西を中心に維新が伸長する事になりました。この結果、維新を含む自公与党は、改憲を進めて戦争する国づくりを改めて進めようとしています。



選挙直後の11・3円山憲法集会には、多くの市民が駆けつけ、野党がそろって挨拶やメッセージを寄せましたが、これまで、国会の三分の二を改憲勢力が握る下でも、世論と運動と国会共闘で、政治の暴走を阻んできた経験をもとに、力を合わせる事が求められます。

コロナ感染爆発による医療崩壊の危機は、自公政権の「人災」として国民の批判を受け続けています。岸田政権に対し、安倍・菅政権の延長ではなく、命と暮らしを守る政治を求めましょう。

市民連合と立憲野党の共通政策の多くの合意を、さらに前に進めるため、「憲法に基づく国民の命と暮らしを守る政治を！」の声をあげましょう。

とき **11月19日（金）**

午後6時30分～ 街頭スピーチ

デモを予定します。マスク等感染対策をしましょう。

ところ 京都市役所前（御池通側歩道）

呼びかけ 戦争をさせない京都1000人委員会